

こ
ん
に
ち
は

し も す わ
町 議 会

で す

平成30年10月26日発行

VOL.21八月臨時会・九月定例会

♡♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡♡

- 湖周合併協議会設置を否決……2
- 決算審査……4・5
- 各委員会視察報告……14・15



災害時の非常食を学ぶ子ども達の眼差しは、真剣そのもの

8月臨時会

2市1町の合併協議会設置を否決

賛成3 反対8

諏訪市・岡谷市も否決

諏訪湖周2市1町の法定合併協議会（以下合併協）設置を審議する臨時会が行われ、賛成3票反対8票にて否決されました。

この議案は町の有志による合併協議会の要求に対し、町長が意見を付した上で上程されました。

町長 まだその時期ではない

直接請求は民意の一つとして尊重する。合併には住民への十分な情報の提供と、民意の高まりが不可欠だが、現状は合併協を設置する時期には至っていないと判断する。

議会 特別委員会設置

議会では合併協設置協議特別委員会を設置し、全メンバーにて審議した。

賛成意見 将来が不安

人口の減少、産業の停滞を見ると10年後、20年後が不安である。過去に投資したインフラの維持、あるいは新たな都市機能の充実には、大きなくくりで進めることがより効率的である。湖周が一つの市になればそれが可能になる。未来ビジョンの描ける湖周のスタートをすべきだ。

諏訪圏6市町村の合併が理想ではあるが、前段階の3市町合併がそれを阻害することにはならない。

反対意見 自立したまちづくりを

合併の最大の課題は民意の醸成だが、気運は感じられない。大きな団体になる合併効果を狙うより、自立したまちづくりを優先すべきである。



住民サービスの充実こそ、町民が求めているものではないか。

諏訪圏の将来は6市町村の合併抜きには考えられない。その為には「人の和」が必須だ。住民の気持ちの一つになるよう、地道に賛同者を募るべきだ。現時点は時至らずである。

採決の結果、賛成少数で否決。

諏訪市議会

賛成5 反対9

6市町村合併のためにはまず2市1町が合併し、前に進むことが必要であり、合併の是非を検討するために、合併協の設置が不可欠、との賛成意見が出された。

一方、6市町村ではなく3市町としたこと、民意の高まり具合、合併協設置の住民発議のタイミングなどについて疑義が出され、反対が多数を占めた。

岡谷市議会

賛成6 反対9

少子高齢化、産業の退勢を見た時、今が合併時期でないなら、どうなったら時期が来たと言えるのか。

合併に関し、住民が真剣に議論する機会を設け、今何ができるのか、何をすべきか、行動を起こす時だ、との賛成意見が表明された。

他方、合併で多様な住民の声が行政に届かなくなる。人口減少の歯止めにもならない。

合併すべきと考えるが、市民への十分な説明をしたうえで段階的にやるべき、との反対意見が示された。

（2市の状況は市民新聞記事抜粋）

9月定例会

9月定例会に上程された決算認定を含む21議案は、全て可決・認定されました。

大阪地震うけブロック等の改修工事

総務経済常任委員会より報告

付託された4議案は全て原案通り可決されました。

結婚新生活支援施設

設置条例を制定

個人のブロック塀もあり、話し合いながら進める。

今年中に新婚施設完成

星が丘労災リハビリ跡地の旧職員宿舎アパート4戸が、結婚生活支援施設に生まれ変わる。今年度中に供用開始予定。入居の期間は1年～5年。使用料は家賃3万円と共益費5千円。

外観上どうかとの質問があり、安全第一に進めるとの答弁があり、討論はなく挙手全員で可決された。

一般会計補正予算

日本遺産認定による看板を作製

格安で、移住定住に繋がるとの賛成討論があり挙手全員で可決された。

「星降る中部高地の縄文文化」日本遺産認定を受け、12月までに看板など完成予定。共通のロゴマーク、商標など県で検討中。

危険ブロック改修

駐車場事業特別会計補正予算

四ツ角駐車場西側のブロック塀も老朽化しているが、危険度が高いセブンイレブンの側から順次実施し駐車場全体整備の中で検討する。

さらなる観光の発展に期待できるとの賛成討論があり挙手全員で可決された。



新婚向けの住居をお貸しします



全館を地域活動支援センターへ

独居老人施設廃止に賛否両論

生活文教常任委員会より報告

付託された4議案は全て原案通り可決されました。

複合福祉施設設置条例の一部を改正する条例

指すため、として理解でき

障がい者施設に特化

賃貸している複合福祉施設を町で取得し、建物全体を障がい者等が日常生活及び社会生活を営むための支援施設「地域活動支援センター」とする改正。

賛成2反対2の同数になり、委員長採決で原案通り可決された。

一般会計補正予算

移動販売本格実施

移動販売事業委託料で内訳は販売車両の改造費など車両購入費と販売員2名の半年分の人件費等。改善点は、販売場所を13か所に増やすこと。

「反対討論」独居老人の住宅ニーズはないとは言えない。唯一の施設であり、代替案がないままの廃止は福祉の後退であり、住民の理解を得られない。このタイミングでの改正の必然性はないと考える。

賛成討論 取得して新たな展開のスタートとしての方向性を示している。

1階部分の地域活動支援センターの恒久的継続を目指す。

討論では、買い物弱者にとってありがたい。試行期間を経て一部改善されるということであり、10月末を待たずなるべく早くお願いしたい。挙手全員で可決された。

会計・特別会計決算 決算を認定



駅前防災広場のイルミネーション



儀象堂の改修工事



ホシメバのリノベーション体験

9月定例会には、平成29年度一般会計から特別会計までの10会計の決算認定議案が提出されました。収入総額から支出総額を差し引き、30年度に繰り越す額を除いた実質収支額は、一般会計で3億4681万4千円、特別・企業会計の9会計では7540万1千円で、合わせて4億2221万5千円の黒字決算。単年度収支額でも合わせて1831万5千円の黒字でした。

一般会計では

歳入決算額79億188万6千円、歳出決算額7億4095万6千円で、実質収支額は3億4681万円の黒字となりました。

前年と比べ歳入は町税などの自主財源の増額はありましたが、町債や国庫補助金などが大きく減少し4億2504万円の減となりました。

歳出は、儀象堂の整備工事や、南小の庁舎改修に伴う公債費が増えましたが、一方旧清掃センター解体工事、北小や社中の改修工事など大型事業

が終了したことなどにより、4億3052万円減りました。

なお一般会計・特別会計の総計で、財政調整基金など基金の総額は、23億7270万円で前年に比べ、1億7121万円増えました。一方借金である町債の合計は3767万円減少し128億5053万円となりました。

特別会計では

全体で歳入総額35億7千万円余、歳出総額34億9千万円余で実質収支7500万円の黒字となりました。

国民健康保険は、平均15%の保険税引き上げで、実質収支1416万円の黒字でしたが、制度がH30年度から県に移行する中で、厳しい財政が続く状況において、予防医療の強化による医療費の削減等健全財政への引き続きの努力が必要です。

水道事業では、経営戦

監査委員の意見

代表監査委員
星野 岳生議選監査委員
中村 奎司

第7次総合計画、未来を創る総合戦略を基本に、地方創生をさらに推進するとともに、6つの基本方針を掲げ、住民要望に添った施策として、下諏訪力の「創造」から下諏訪力の「発信・展開」へと繋げ、住民満足度100%の実現を目指す予算であった。

歳入にあつては、町税収入が調定額・収入済額ともに伸び、微増ながら収納率も伸びており、努力されていることが伺える。引き続き自主財源の確保に努められたい。

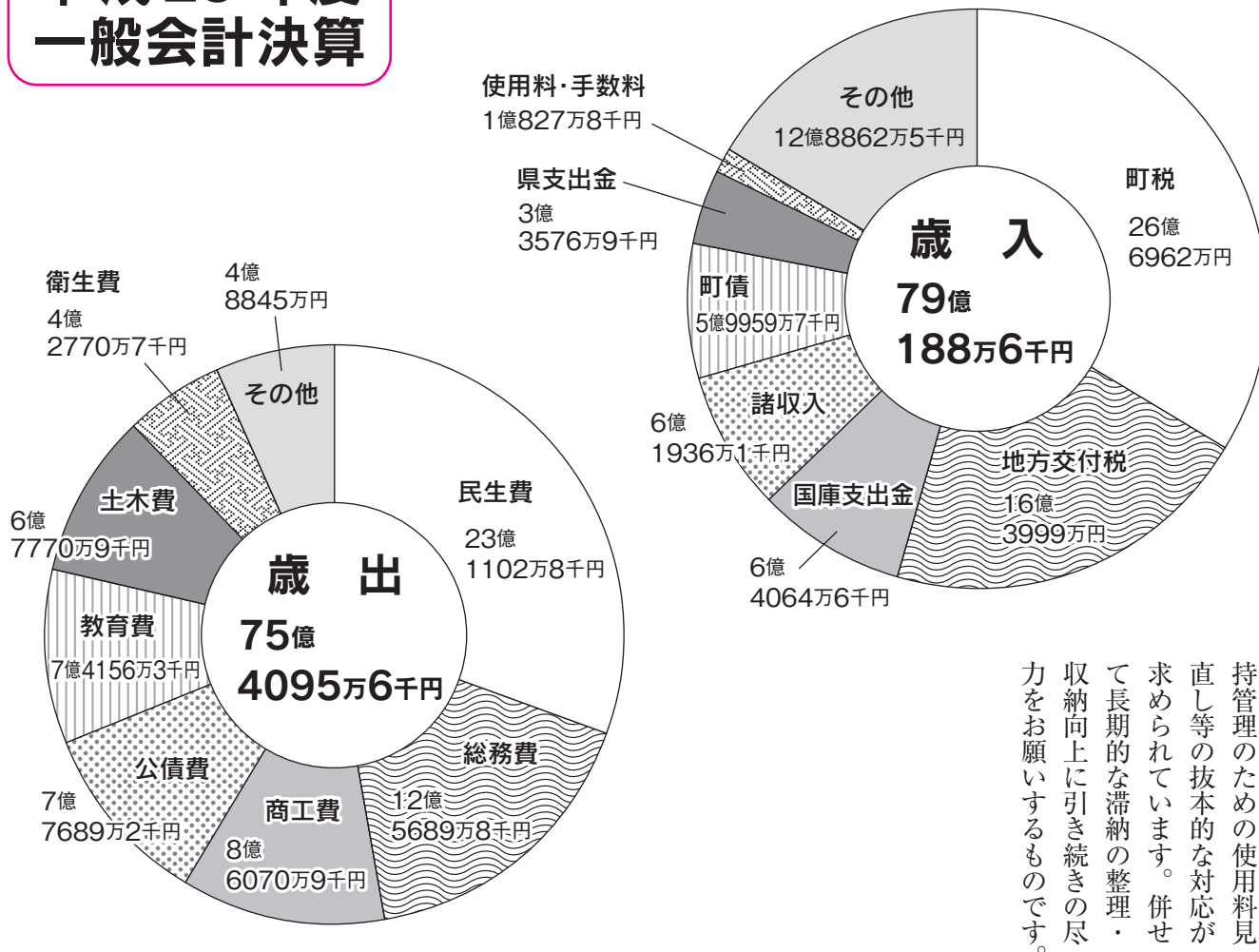
使用料等については、長期化している滞納の整理に工夫をされ、一層の収納確保に努められたい。

歳出では、国庫補助金、県補助金、交付税措置のある有利な起債が活用されるなど、特定財源の確保に努めていることが感じられ、さらなる財源確保を念頭に事業を進めていただくことを期待する。

人口減少や少子高齢化が進む社会情勢と厳しい財政状況の中で、将来世代に対する負担軽減を図るべく、引き続き長期的視点に基づいた財政運営に期待するものである。

実質収支黒字

平成29年度
一般会計決算



略において、施設等の維持管理のための使用料見直し等の抜本的な対応が求められています。併せて長期的な滞納の整理・収納向上に引き続きの尽力をお願いするものです。

平成29年度特別会計

会計名	区分	歳入	歳出
国民健康保険		24億9,893万円	24億8,477万円
駐車場事業		651万円	567万円
後期高齢者医療		3億5,203万円	3億5,151万円
交通災害共済事業		1,790万円	676万円
温泉事業		4億7,095万円	4億2,258万円
特別養護老人ホーム事業		2億2,213万円	2億2,213万円
東山田財産区		173万円	137万円
水道事業（企業会計）	収益的	2億5,519万円	2億5,742万円
	資本的	7,270万円	1億7,442万円
下水道事業（企業会計）	収益的	5億9,047万円	5億7,377万円
	資本的	3億2,793万円	4億9,080万円

一目でわかる議決結果 8月臨時会

議決結果

議案第52号	岡谷市・諏訪市・下諏訪町合併協議会の設置について	否決(少数)
--------	--------------------------	--------

一目でわかる議決結果 9月定例会

議決結果

議案第53号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意(全員)
議案第54号	下諏訪町結婚新生活支援施設設置条例の制定について	可決(全員)
議案第55号	下諏訪町複合福祉施設設置条例の一部を改正する条例について	可決(多数)
議案第56号	平成30年度下諏訪町一般会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第57号	平成30年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第58号	平成30年度下諏訪町駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第59号	平成30年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第60号	平成30年度下諏訪町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第61号	平成29年度下諏訪町一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第62号	平成29年度下諏訪町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(多数)
議案第63号	平成29年度下諏訪町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第64号	平成29年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第65号	平成29年度下諏訪町交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第66号	平成29年度下諏訪町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第67号	平成29年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第68号	平成29年度下諏訪町東山田財産区会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第69号	平成29年度下諏訪町水道事業会計決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第70号	平成29年度下諏訪町下水道事業会計決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第71号	下諏訪町防災行政無線設備更新工事請負契約の締結について	可決(全員)
議案第72号	下諏訪町保健センター空調設備等改修工事請負契約の締結について	可決(全員)
議案第73号	下諏訪町総合運動場管理施設改築工事請負契約の締結について	可決(全員)

※主な議案の審査内容は、3～5Pをご覧ください。

陳情審査結果

平成30年陳情第4号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情	第1項：採択(全員) 第2項：趣旨採択(全員)
------------	----------------------	----------------------------

意見書案議決結果

平成30年意見書案第4号	私立高校への公費助成に関する国への意見書	可決(全員)
平成30年意見書案第5号	私立高校への公費助成に関する県への意見書	可決(全員)

8月臨時会・9月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順) 議案番号等	議決等結果	林 元夫	岩 村 清 司	小 池 忠 弘	森 安 夫	青 木 利 子	中 村 奎 司	田 嶋 彰	金 井 敬 子	中 村 光 良	河 西 猛	藤 森 ス マ エ	宮 坂 徹
8月臨時会													
議案第52号	否決(少数)	斜線	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
9月定例会													
議案第55号	可決(多数)	斜線	○	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○
議案第62号	認定(多数)	斜線	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○

可決に対する賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。
認定に対する賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

陳情・意見書の審議結果

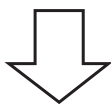
陳情第4号

陳情者 中信地区私学助成推進協議会

私立高校に対する公費助成をお願いする陳情

私立高校生の保護者の学費負担は深刻な状況が続いており、多くの保護者・生徒が公立高校との学費格差の解消を願っています。本陳情は、国・県に対して就学支援金制度の拡充並びに私学助成の増額のための意見書提出を求めるもの（第1項）と、私立高校に通う生徒の保護者への直接補助を求めるもの（第2項）です。

毎年出される陳情ですが、「諏訪圏域6市町村はどこも私立高校への公費助成を行っておらず、『足並みをそろえる中身だろう』と議論されてきた経過もある。教育担当者会議にも提起していただきたい」との意見が出されました。今回も、第1項は採択、第2項は趣旨採択となりました。



意見書案第4号

私立高校への公費助成に関する国への意見書

意見書案第5号

私立高校への公費助成に関する県への意見書

陳情第4号第1項の採択を受け、生活文教常任委員会から提案されたもの。それぞれ、国、県に対し、公教育の一翼を担う私学振興のため、就学

支援制度の拡充並びに私学助成の増額を求める内容です。



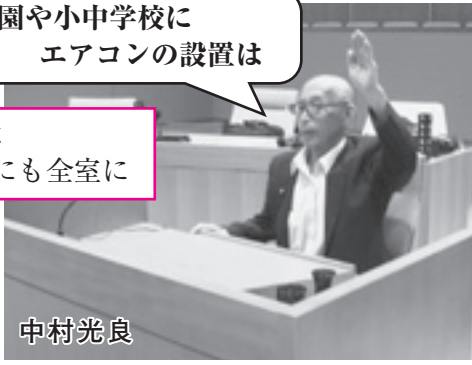
一般質問

Q 保育園や小中学校に
エアコンの設置は

A 保育園は
来夏にも全室に



中村光良



9月の定例会の一般質問は、11人が行いました。質問時間は答弁を含めて一人60分以内です。

8p 中村 光良
「保育園や小中学校にエアコンの設置は」

9p 中村 奎司
「水道料金の値上げ負担額はいくらになるか」

森 安夫
「ホシスメバの地域用途変更は」

10p 岩村 清司
「諏訪圏の今後について、6市町村合併は」

小池 忠弘
「大規模災害への町の対応は」

11p 宮坂 徹
「マンホールトイレを整備拡大する考えは」

金井 啓子
「車にもわかりやすい案内看板設置を」

12p 青木 利子
「来年度予算編成と施策の展望は」

河西 猛
「老福センターにエアコン設置を」

13p 田嶋 彰
「公共施設の管理について」

藤森スマエ
「教員のスキルアップで皆が分かる授業を」

Q 今年夏の猛暑で全国的に熱中症が頻発した。保育園児や小中学生を猛暑と冬の極寒から守りたい。エアコンの設置の考えはどうか。
A 町内3園合わせて2歳児の4室と、0～1歳児4室、調理室には設置済み。熱中症の報告はなく、小中学校は保健室や給食室パソコン室など4校合わせて10台を設置。熱中症は小学校の校外活動中の1件。「ぼけっと」に2台、せせらぎ園に1台を常設している。

Q 国は来年度から小中学校への設置を表明したが。
A 国の方針を注視し、県と共に要望し早期に対応したい。保育園は来年度に間に合うよう全室設置を計画できるだけ小さい子ども達のある施設から、優先的に対応したい。

お舟祭りの総括は

Q 前夜祭の総括はどうか。
A 前夜祭には多くの小中高生が参加し、荒汐部屋の力士との触れあいもあり新たな形ができて嬉しく思う。
Q 今年のお舟祭りは10年に1度の御頭郷で町を上げて遷座行列と、お舟の曳行奉仕された。総括は。



祭りを待つばかりに整った柴舟

Q 天候に恵まれ平日にもかかわらず多くの人が参加して頂いた。柴舟曳行もしつかりと、対応して頂けた。
A 記念事業の評価は。
Q 記念式典、健康スポーツ都市宣言など多くの町民の参加で良い状況で進行中。
Q 南知多町との姉妹都市提携で今後への考え方は。
A 両町に負担が増えること永続しにくい。民間交流が緩やかに深まるとよい。

町制125周年事業は

Q ホシスメバの
地域用途変更は



森 安夫

A 来年一杯はかかる

Q 水道料金の値上げ
負担額はいくらになるか



中村 奎司

A 平均的4人家庭が
2ヶ月で393円

Q 旧労災リハビリテーション「しごと創生拠点施設ホシスメバ」の基本計画は。
A テレワーク・クラフトタウン構想の答申書に沿って実行している。第1段階の「コミュニティづくり」、第2段階の「新たな人との交流」は概ね計画通り。第3段階の「企業を巻き込む」は調査研究を進める中で課題もあり、コンセプトやスケジュールの見直しが必要。
Q 地域用途見直しが進まない第3段階に行けない。

Q 水道料金の値上げが諮問されたが、その背景は。
A 設備の老朽化対策と耐震化のための設備更新である。
Q 値上げの負担はどうか。
A 節水の影響は大きくないと判断している。
Q 水道設備の維持は理解するが、今必要なのか。営業収支は赤字である。
A 「上下水道事業経営戦



活用準備が進む「ホシスメバ」

Q 「近隣商業地域」以上にすれば活用しやすい。進捗状況は。
A 庁内で地域用途マスタープラン見直しを人員を増

略」では、日31年・36年に10%の料金引き上げを行い、財源確保をすることになっている。
子どもの貧困の実態は
Q 子どもの貧困は、貧困の連鎖として次世代にかかわる問題であるが実態は。
A 国の出すような貧困率は当町として把握していない。生活保護世帯は94世帯117人、5・7%であり、子どもは6人いる。
Q 子どもの貧困は、お金



つつじヶ丘学園
当町より2人入所している

以外、貧困の心理の連鎖がある。岡谷のつつじヶ丘学園は、親に面倒をもらえない児童の一次的避難所として有効である。

やして検討中。手続きが煩雑でマスタープラン見直しも含め2年位かかる。来年中には完了したい。
Q 町の外国人居住状況は。
A 8月1日現在外国人住民登録者は277人。
Q 人手不足等で、外国人居住の規制が緩和され外国人が増えると思うが、多文化共生社会への取組みは。
A 町のホームページは11種類の言語に対応。観光情報なども多言語化できるQRコードを掲載。

同所と契約して、安定的に対処すべきではないか。
A 今後の検討課題としていきたい。
Q 貧困と虐待は必ずしも重なってはいないが、大いに関係がある。現状把握は。
A 教育課程の中でチーム支援している（あるのかなのか、具体的答弁なし）。
Q 児童虐待防止のため、子ども家庭支援センターを設置すべきではないか。
A 今後支援が必要な家庭が増えれば対応したい。

Q 町内に外国人の固定資産所有はあるか。
A マンションなど数件あるが、山林などはない。
6市町村合併の方策は
Q 町長は6市町村合併が基本と言っているが、6市町村合併の方策は。
A 現状広域連合で効率、効果的な事業を展開し、各自治体自立を目指して進む。諏訪圏の在り方の中に合併も一つの視点と捉え協議することは可能。

◎ = パーミル。1000分の1を表す記号

Q 大規模災害への町の対応は

A 基本は関係機関との連携



小池忠弘

Q 諏訪圏の今後について、6市町村合併は

A 民意が盛り上がること



岩村清司

Q 近年、豪雨災害、地震、台風など従来の想定を超える大規模災害が発生している。大規模災害に対する町の対応は。
A 基本は、地域防災計画や避難勧告などの伝達マニュアルや関係機関との連携。事前対応としての確な情報収集をし、初期の準備体制をとる。災害規模、状態に応じ、被害発生のおそれのある地域は地区へ連絡し避難所開設体制をとり、被害状況に応じ災害対策本部を

Q 6市町村合併の方向性について、広域連合が合併に移行していく可能性は。
A どうしても対応できない要因が出てきて、外的要因などで合併しなければならぬ状況になれば議論する必要がある。又、住民の理解も必要である。
Q 広域連合で運営されている「広域消防」「介護保険」における行政効率、財政効率はどのくらいか。
A 「消防」の財政効率は、圏域で年約4億3千万円の

Q 豪雨災害を想定しての、町内主要河川などの浸水エリア、洪水ハザードマップの作成は。



総合防災訓練には各種団体が参加

設置し対応する。

削減が見込まれ、財政負担の軽減が図られる。一元化の効果としては、消防体制の基盤強化、住民サービスの向上、人員配置の効率化・充実、デジタル無線の一元化等があげられる。「介護保険」に関しては、広域化前の試算では圏域で年間1千7百万円程度の削減効果。行政効率に関しては、地域住民が同じ負担で同じサービスが受けられること、財政基盤の安定化、事務の効率化があげられる。

Q 町長公約の、線路下への子育て支援センターの設置計画はどうなっているか。
A イオン諏訪店空き店舗活用を検討してきた。建て

子育て支援施設新設は
Q 町長公約の、線路下への子育て支援センターの設置計画はどうなっているか。
A イオン諏訪店空き店舗活用を検討してきた。建て



民間スポーツ施設を安く使えたらうれしいね

Q 町内企業の転入出数は。
A 法人登記でH20～29年度に設立転入が204社、解散・転出が272社。68社が減った。
Q 町民の健康向上をめざす「健康スポーツ都市宣言」の具体策として、民間スポーツ施設利用に対する補助金を支給してはいかがか。
維持管理費も考えれば、町営施設を新設するより、官

替え後、新店舗内の公共スペースへの設置を協議していく。
移動販売の本格稼働は
Q テスト販売での課題、本格稼働での変更点は。
A 約二カ月のテスト期間に、1192人、1日37人が利用。オルゴールの音が聞こえないとの声があり、もう少し広範囲に巡回する。新たに3カ所、一区の山の神、長坂、千松を加えて実施していく。

民一体で考えれば、最も良い方法では。
A 一つの民間企業施設に対する補助は、なかなか難しいと思う。複数の施設に対してならば、公平性が保たれ、考えられないことはない。

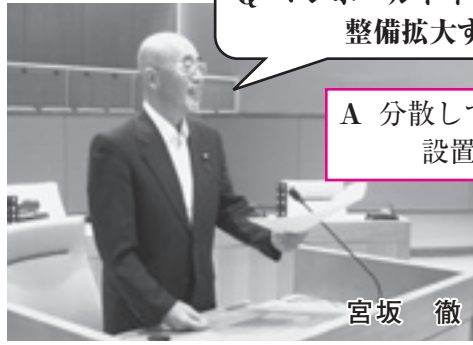
Q 車にもわかりやすい
案内看板設置を



A 本年度から
取り組み開始

金井敬子

Q マンホールトイレを
整備拡大する考えは



A 分散して
設置を検討したい

宮坂 徹

Q 災害時でも快適なトイレ環境が確保できるマンホールトイレを整備拡大する考えは。

A 赤砂崎・駅前とかたよ
りがあり、できるだけ分散
する必要性を感じる。予算
を見ながら検討したい。併
せて、職員が発案した発泡
スチロール製の簡易トイレ
がある。災害時や介護にも
使える。安価で家庭にも揃
えてもらうことも考えたい。
Q 避難所で、母親や女性
に対する「覗き・セクハラ」

Q 全町的に、駐車場への
車両誘導も含めた、統一感
のある案内看板の整備を。
A これまで、「まちあるき」
用の看板設置を進めてきた。
車への案内看板は、本年度
から取り組みを開始してい
る。国、県、諏訪大社ほか
関係者と相談し、内容・大
きさ等検討して進める。
Q 危険な交差点への信
号・看板の設置をはじめと
する安全対策を。
A 看板設置を具体化する
交差点もある。信号機設置



総合防災訓練での
ボランティア受付体験

等の被害事例もあるなかで、
女性専用の避難所確保も必
要だと思うが。
A 基本的に家族が一つで
生活することが重要な中で、

は条件が厳しいが、交差点
付近に注意喚起の道路標示
を町独自で検討する他、広
報などでの啓蒙にも努める。
Q 「街かど博物館」の現状
と今後の活用について。
A 現在、6ヶ所。来場者
数に差はあるが、今後「ま
ちあるき」とリンクさせ、
充実させたい。
Q 商工会議所が7月より、
秋宮前において設置・運営
する観光案内所には、連日
大変多くの来館者がある。
これを継続すべき。

福祉タクシー券配慮を

A 「継続」を含め、商工会
議所・観光協会と、検証・
検討していく。



商工会議所が7月開設した
観光案内所を議会で視察

女性専用の避難所を設置す
るのではなく、通常の避難
所の中に女性専用の着替え
スペースや授乳室を確保す
るなど必要な機能を備える
ことが重要だと考えている。
Q ボランティア受援の際、
資機材の保管場所は、現在
地で大丈夫か。
A 現在は高浜の災害支援
ボランティア活動センター
に保管している。災害時に
取りに行けない、その場所
が被災するなどを想定し、
今後はある程度分散管理す

ることや、ホームセンター
などの協定を検討する。
まちあるき事業の拡大を

Q 様々なニーズに合った
多様なテーマ・コース設定
が大事ではないか。

A 非常に大切なこと。地
域おこし協力隊員を観光振
興局に配置した。外から目
線でどんなコース設定がで
きるか考えてもらっている。
他所から来た方への親切な
提案はありがたい。是非指
導いただきたい。

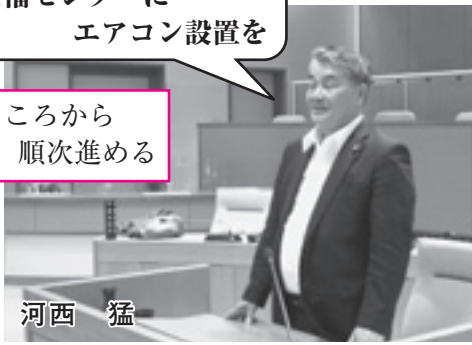
Q 今年度、福祉タクシー
等利用料金助成事業におい
て、「要支援1・2」の方へ
の交付枚数が減らされた。
自らの移動手段を持たない
方たちからの、不満の声は
少なくない。「必要な方への
配慮をする」との町長発言
もあった。元の枚数に戻す
べき。

A 10月からの半年分は、
「要支援1・2」で独居の
方々には、昨年同様の枚数
を送付する。

Q 老福センターに
エアコン設置を

A 必要なところから
順次進める

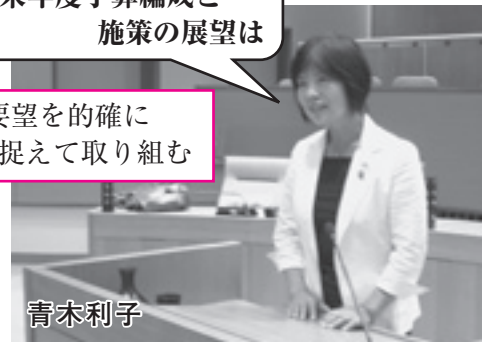
河西 猛



Q 来年度予算編成と
施策の展望は

A 住民の要望を的確に
捉えて取り組む

青木利子



Q 県指定である諏訪地方
唯一の前方後円墳「青塚古
墳」の管理を。ケヤキの大
木があり、周辺住民から古

まちの安心安全対策は

Q 老人福祉センターにエ
アコンの設置を。
A 脱衣所と健康増進室に
付いている。砥川沿いで、
風通しが良く、扇風機と窓
を開けて対応していたが、
今年は猛暑でエアコンの要
望をいただいた。必要な
ところから順次進める。

Q 特定空き家とは。
A 放置すると倒壊、衛生

Q 特定空き家とは。
A 放置すると倒壊、衛生

Q 7月末に訪れた八島湿
原の木道付近のワラビが、
大きく成長していたが、
A 夏は葉が大きく開き目
立つ時期。例年この状況で、
特に増殖や他の植生に影響
はない。
Q 八島湿原のトイレの状
況や改修計画は。
A 設置から26年経過し傷
みや汚れが激しくなってい
る。利用者からは汚い、水
が出ない、おむつ替えの場
所が欲しいなどの意見があ
る。利用状況や環境状況、

八島湿原の維持管理は

Q 予算編成の考え方は。
A 住民満足度100%の
実現のために住民のみなさ
んに寄り添い、的確に住民
要望を把握し、施策を組み
立てる。
Q 来年度の予算編成で最
適な人員や運営体制は。
A 現時点で人員や組織体
制が大きく変わることはな
いが、より専門的な人材採
用を視野に入れて行政の効
率化を図っていきたい。

Q 維持管理のための利用
者協力金「トイレチップ」
導入の考えは。
A 近隣市との連携が必要。
Q 最低年1回以上空き家
の状況などの協議を行い、
民間と情報共有し対策が円
滑に進むよう連携を図って
いる。特定空き家の可能性
があるのは3件で、本年度
中に解決する見込み。
Q ブロック塀で安全性に



未来へ守り伝えたい八島高原

関係団体の意見を考慮し、
来年度改修を予定する。

南知多町との交流

Q 姉妹都市提携を結んだ
南知多町と、利益が上がる
ような交流は。
A 以前実施したわかさぎ
煎餅の販売のような民間交
流ができたらい。
Q 今後の予定は。
A 今年は町民号バスを2
回予定。秋には日間賀島へ
行くので、多くのみなさん
に参加して頂きたい。

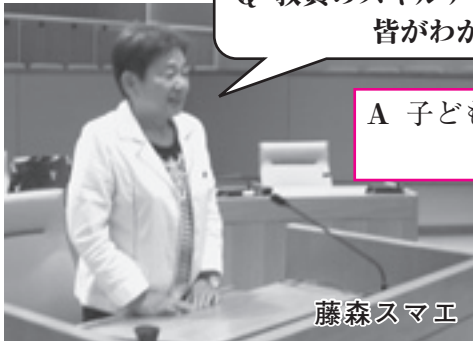
問題のあった学校は。

A ブロック塀の有無や劣
化損傷状況、建築基準法施
行令に基づいて点検し、小
中学校全てで問題なかった。



ブロック塀調査
全小中学校問題なし

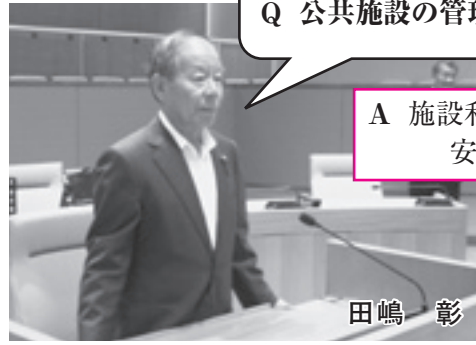
Q 教員のスキルアップで
皆がわかる授業を



A 子どもに学び
自らを変える

藤森スマエ

Q 公共施設の管理について



A 施設利用者の
安全を最優先に

田嶋 彰

Q 授業と切り離して生徒や先生の相談相手や、保護者との連携窓口になる「一括コーディネーター」の配置を。
A 茅野市に1校モデル校として配置された。町の各校に支援を必要とする生徒も複数ずついるが、担任を持たないコーディネーターはやはり居た方がいい。
Q サポートスタッフと部活指導員の配置と信州型ユニバーサルデザインでの教員のスキルアップを。

Q 町所有施設の定期点検の内容、状況は。
A 各施設については電気保安業務、消防用設備保守エレベーター・リフト類の保守に加え、入浴設備のある施設では浴槽等水質検査等の点検・修繕を実施している。点検に当っては施設利用者の安全を最優先で行っている。
Q 加入している賠償保険は。
A 「全国町村会総合賠償補償保険制度」に加入して

Q 現在南小にサポートスタッフ(非常勤)が1人配置されていて、先生の時間外勤務が5%軽減された。部活指導員は人材の確保が難しいが検討を進めている。
A 町では10数人に外部指導者として協力いただいている。子どもの姿に学んで自らを変えて行く教員を目指そうと取り組んでいる。研修会等で実際の授業をみて、良い所を共有しあっている。

いる。またそれに伴い「下諏訪町総合災害補償規程」を制定している。
Q 防犯カメラの設置状況は。
A 現在10の公共施設に35台のカメラを設置しており臨時的に防犯用に設置可能なビデオカメラを1台所有している。
「ぼけっと」
Q 子育てふれあいセンター「ぼけっと」の利用状況は。
A H28年度は4733組、

Q 今夏の危険な暑さ対応として、子ども達の命と健康を守り、勉強に集中できるようにエアコンの早期設置を。
A 子どもたちには良い環境で学んで欲しい。できるだけ早い段階で教室への設置を考えている。体育館の設置は先送りになるかと思う。
Q 春宮前の空き地活用のための交渉を早急にすべき。
A 現在地権者と交渉中であり、慎重に継続する。

29年度は5089組の利用があり、1日平均20組程度の利用でそのうち1〜2割が町外からの利用。95%近くが母親との利用で、0〜3歳児を育てている20〜30代の母親の利用が多い。高齢者の15グループの登録もあり趣味を楽しむ生きがい場となっている。
Q 「ぼけっと」の事業内容は。
A 子育てに関する「BPPプログラム」「こどもとの接し方講座」等多数の事業を行っている。
BPPプログラムは初めの子育てを支援するプログラム。



子育てふれあいセンター「ぼけっと」



春宮前の空き地

Q 春宮手水舎の風情のない水道管をなんとかすべき。
A 現地を確認して諏訪大社へ伝える。

3歳児を育てている20〜30代の母親の利用が多い。高齢者の15グループの登録もあり趣味を楽しむ生きがい場となっている。
Q 「ぼけっと」の事業内容は。
A 子育てに関する「BPPプログラム」「こどもとの接し方講座」等多数の事業を行っている。
BPPプログラムは初めの子育てを支援するプログラム。

力に感嘆 書館は 広報誌を

徳島県阿南町
福島県矢祭町
群馬県玉村町



ものづくり に 手厚い支援

総務経済常任委

7月23日～25日まで東大阪市・日亜化学工業・徳島市の視察を行いました。

中小企業が地域社会の主役

東大阪市は人口50万人、一般会計予算が2000億円。

市内における企業の99%が中小企業であり、ものづくりの支援に退職後の人材をコーディネーターとして雇用している。又、就職フアクトリを開設し、30歳以下の若者と女性を中心に人材斡旋をしている。市内には大阪府の施設「MOBIO」が

読みやすく

広報特別委員会

広報特別委員会は、7月12・13日に視察研修を行いました。1日目は、全国町村議会議長会主催の「町村議会広報クリニック（関東・北信越地区）」に、

常時展示ブースを200開設し、販路開拓等に利用されている。



世界一の商品をつくらう

日亜化学工業は資本金520億円、売上は3000億円、従業員数は8865人。当初は、石灰岩を利用して蛍光体原料の高純度カルシウムを開発。その後高機能の青色発光ダイオードを製品化、現在は白色LEDの開発に成功している。下諏訪町の技術センターは、半導体応用技術の開発を手がけている。



始まる前に資料熟読

「藍」で活性化

徳島市は人口26万人、一般会計予算1000億円、中小企業事業所の割合は99・9%。

中小企業振興基本条例が施行され、中小企業が発展すれば、雇用が生まれ、まちが賑わい、市民サービスが向上していく、好循環につながる。「とくしま地域資源活用支援事業」として藍を取り上げている。



徳島市役所で丁寧な説明を受ける

町役場を訪問し、議会広報特別委員会の皆さんと事務局の方にお話をうかがった。印刷業社や事務局の関わり方等は、当議会と随分違いがあったが、効率的な編集・校正作業の持ち方や、大胆なレイアウト等、おおいに学ばせていただいた。「いかに読んでもらえる広報を作るか」を、今後委員一同、追求していきたい。クリニックで指摘いた

日亜化学の開発 もったいない図 読んでもらえる

委員会視察報告



余白を多く、

参加。町村議会広報全国コンクールの審査員のお一人であるグラフィックデザイナー長岡光弘氏の講義の後に、クリニックを希望した議会発行の紙面について、指導があった。

当議会発行の「議会だより」第19号も指導を受けたが、表紙や見出しの工夫を評価いただいたものの、全体的な文量の多さ、余白の取り方、段組の検討などを課題として指摘された。

また、他議会のクリニックを拝聴する中での学びも、多数あった。

2日目は、町村議会広報全国コンクールで上位入賞の実績がある、群馬県玉村町議会の広報を学ぶために、

いた課題克服のために、今号より取り組んでいる。



玉村町の議員の皆さんと議場にて

寄附いただいた 図書43万冊

生活文教委

6月20日から22日にわたり、福島県矢祭町・栃木県矢板市を視察しました。

矢祭町もったいない図書館

矢祭町では、図書館が欲しいという住民要望を受け、「もったいない運動」の一環として書籍の寄附を呼びかけたところ、共感した全国の方が贈ってくださいました。現在も寄贈を基本に蔵書を整えているので、新刊購入図書は、乳幼児期からの読書活動事業の児童書に限っている。

誕生祝金を充実

子育て支援に「すこやか赤ちゃん事業」として、3番目の子以降への誕生祝い金を充実。第3子百万・第4子150万・第5子以降は200万円。支給は初回50万円で、以降分割支払いで子育てを支援する。その結果出生率は2・1人に増加。



来館者は我々だけだった図書館

矢板市 小中一貫教育は

矢板市の小中一貫教育は、一貫教育校という考え方ではなく、通学区で小中学校をくくり、連携を図るという当町に近い考え方の一貫的教育。運動会は小中学校一緒に開催するなど、工夫も感じられた。



数学の授業風景、活発に

議長のつづやき



世界の 伊東豊雄先生と 話ろう

議長 林 元夫

今年、特別町民栄誉賞を受賞された伊東豊雄先生と会食する機会に恵まれました。おしゃれな眼鏡の奥には優しさそのものの瞳があり、大変気さくで、話しやすく、建築のノーベル賞と言われるプリツカー賞やヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞など受賞された雲の上のような方には思えません。お父様の郷里である下諏訪町の高木に中学3年まで過ごされ、東京大学工学部建築学科を卒業されています。「下諏訪町立諏訪湖博物館」や赤砂崎防災公園の基本設計もされており、当町には特に思い入れがあるとお聞きしました。幼き時の思い出は今でも大切にされています。当町に愛情を注いでいただいております。



伊東先生と話せるなんて貴重な機会
中学生諸君！待ってます

ふと議会だよりのへの協力をお願いしたところ、「子どもと話してみたい」と答えられました。2011年に私塾「伊東

建築塾」を設立して、これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動をしているからなのでしょう。下諏訪町の未来を担う子どもたちとお話ししていただく機会を持たせて頂けるなんて！感動で胸が高鳴りました。さっそく議会主催で行うこととし、窓口として副議長が担当することになりました。
12月16日の午後1時半から役場4階の講堂で開催する予定です。下中・社中の1・2年生が対象です。会場等の都合で、先着30名とさせていただきます。世界中を飛び回る忙しい伊東先生ですが、下諏訪の子どものため、未来のために来ていただきます。是非お話をしてみてもいいかな機会はまだとないでしょう。

好きです しもすわ



下諏訪消防団団長
清水 正

町民の防災意識向上

4月より町消防団長を拝命しました、清水正と申します。現在消防団を取りまく環境や、求められている事が以前とはだいぶ変化してきています。全国で頻発している自然災害にも対応

をすべく団の訓練内容を見直し、時代に合った訓練や研修へとシフトしております。災害対応の資機材の更新も進めています。
町民の皆さんの防災意識や関心も高まる中、防災士資格の取得者を増やす活動にも携わる事が出来ました。各区で積極的な地域防災活動を展開して頂き、下諏訪町民の防災意識が着々と向上してきていることに、たしかな手応えを感じています。災害の規模にもよりますが、自助、共助、公助という言葉の公助は期待しない、地域は地域で守るという基本原則を忘れずに、各地で行われる防災関連の行事には皆さんに積極的に関わって頂きたいと思えます。
行政と住民が防災だけに限らず、情報を共有し、お互いに理解し合える環境作りを今以上に整備できるように、議会に期待いたします。

編集後記

この間、当議会の「議会だより」を視察目的にお越し頂いた議会が2つ。発行の歴史の浅い私たちにとっては、緊張しつつも大変嬉しいことでした。さて、前号の「議会だよりモニター」募集に応募いただいた12人の方

に、今号からアンケート等をお願いしてまいります。どうぞ、よろしくお願い致します。(K・K)

広報特別委員会
委員長 宮坂 徹
委員長 金井敬子
委員 森 安夫
委員 青木利子
委員 中村奎司
委員 岩村 清

予告

議会報告会

11月2日(金) 午後7時
下諏訪総合文化センターにて
多数のご参加をお待ちしています！